

■2009年個展のお知らせ

来日芸術活動10周年記念
宍冬瑩「旅途・詩情・画意」帰国北京個展

2009 5/27(水)～5/31(日)

来日10年、「中日芸術交流大使」の称号をもつ女流画家宍冬瑩の展覧会を北京で開催し、その10年間の画業の成果を初めて母国で披露します。この機会にみなさんも一緒にオリンピックで装いを改めた新しい北京へ行きませんか！

会場：中国人民对外友好協会「友誼館」（元イタリア領事館）

内容：絵画作品約50点

主催：中国人民对外友好協会／中国友好平和発展基金会
／冬冬芸術文化交流協会

実行委員会：中国友好平和発展基金会

特別協賛：北京中聯国興書画院／日本AU国際芸術協会

後援：中華人民共和国文化部／中華人民共和国駐大阪総領事館
／日本宝塚造形芸術大学／日本大使館／中央美術学院

報道：新華通信社／中国文化報／中央テレビ局／北京テレビ局<以上予定>

■書籍のご案内



『一冊でデッサンをマスター』

デッサン上達のための手引書が渴望される中、ミー・トンインと曹興軍共著の手引書が出版された。画像も鮮明で繊細な部分まで大変参考になると評判が高い良書。大学の教材としても使われている。

内容：A3判、上質紙印刷、40ページ
定価：1,890円（税込）+郵送費390円=2,180円



『凛・宍冬瑩墨彩画作品集』

ミー・トンイン初めての作品集。タイトル「凛」は彼女の生き方を表す語として自身が名付けた。独自の画風を追求する意欲作多数収録。

内容：A4判、上質紙カラー印刷、22ページ、印譜・語録
作品29点収録
定価：1,500円（税込）

お求めはこちらのネットショップから
こだわり文具のアラネット

<http://www.st-aura.com>
または冬冬芸術文化交流協会事務局へお申し込みください。

FAX:06-6362-7170

購入希望者の連絡先と電話番号をご記入ください。入金確認後、直ちにお送りいたします。

振込先：日中芸術文化創出センター

郵便振替口座：日中芸術文化創出センター 00900-9-193828

■ツアーコース案内（申込書は別紙）



■トントン墨彩教室のお知らせ

〈阿倍野〉近鉄文化サロン「宍冬瑩「墨彩の世界」教室」が4月からスタート！

(3月20日(金)春分の日午後14:30～16:30 / 体験レッスン開催)

場所：近鉄文化サロン阿倍野 〒545-0052 大阪市阿倍野区阿倍野筋2-1-40

(近鉄百貨店阿倍野店南側「and」4階)

時間：第1・第3の金曜日(月2回) 午後14:30～16:30

問い合わせ連絡先：近鉄文化サロン 阿倍野

<http://www.d-kintetsu.co.jp/bunka-salon/abeno/>

TEL(06)6625-1771 FAX(06)6625-1770

〈梅田〉宝塚造形芸術大学大阪梅田キャンパス 社会人向け公開講座オープンコース

場所：大阪梅田キャンパス

時間：毎週金曜日(月4回) 午前10:00～13:00

●春学期：4月～9月 ●秋学期：10月～3月

〒530-0012 大阪市北区芝田1丁目13番16号

フリーダイヤル 0120-58-0007

satellite@takara-univ.ac.jp

〈西宮〉西宮市若竹文化会館

場所：西宮市若竹文化会館 (JR西宮駅より5分、阪急西宮北口駅より10分)

時間：毎週木曜日(午後14:00～16:00) (月3回)

問い合わせ連絡先：ミー・トンインまで (tel/fax:06-6577-7081)

初心者の方もお気軽にご参加ください

内容：①水墨画の基本技法/②臨模/③写生/④展覧会への出品創作の指導

■冬冬芸術文化交流協会入会のご案内

冬冬芸術文化交流協会は、芸術・文化を通じて皆様の交流、コミュニケーションの場になればと考えています。芸術・文化以外でも日中友好に役立つ活動も積極的に行って、このサイトを通じて、ご報告や連絡をしたいと思っていますので、皆様もこの機会に是非入会して頂いて様々な活動に参加して下さい。

この「トントン通信」とともにインターネットも活用し、タイムリーに情報を発信したいと思います。

年会費 3,000円

冬冬芸術文化交流協会 郵便振替口座 口座番号 00940-7-140257

登録の仕方

STEP1



tontonmi@keysam.jp

あなたの携帯から上記アドレスに空メールを送信！

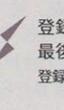
STEP2



登録案内メールが返信されます。

登録用のアドレスをクリック!!

STEP3



登録項目を入力し、最後に登録ボタンを押して下さい。

登録項目★会員名(必須)★情報カテゴリ

★パスワード ★コメント

* 携帯からのご登録の場合、インターネットからの受信拒否の設定をしていると登録案内が届きません。

パソコンのメールでも登録できます。

<http://www.tontonmi.jp/>



冬冬芸術文化交流協会

名誉会長：五十嵐 淳(元宝塚造形芸術大学学長)

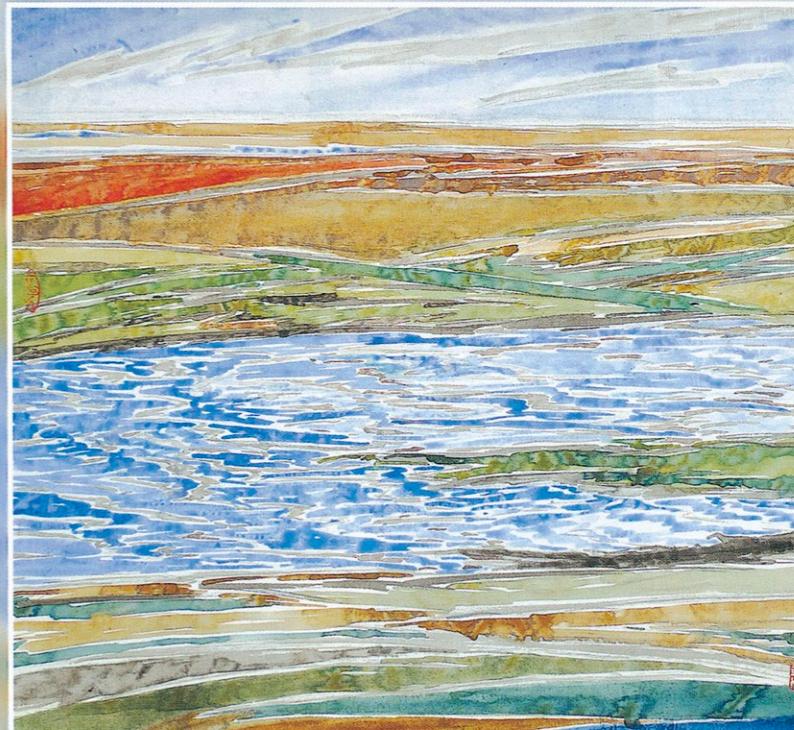
顧問：李 小林(中国人民对外友好协会副会长)

執行理事：田中 久史

事務局：中井 美知子、鵜飼 アユ、津田 真理子

編集協力：田口 雄一／デザイン：猪俣 季男

トントン通信



「牧歌」(モンゴルの旅より)

詩境は画家が画面において追求する芸術の真髓である。人は画の中に詩を求めるであろう。しかし私の心は常に筆の先にある。<作品集『凛』所収「語錄」より>

TOPICS

トントンの活動『墨・彩の競演』

『書琴画意』

『パラリンピックに参加』

『旅、詩情。宍冬瑩 墨彩の世界』

トントンの最近の旅

Information

個展、教室、入会のご案内

No.3 2009.3
冬冬芸術文化交流協会

〒530-0055

大阪市北区野崎町6-8

ノース梅田ビル802

TEL:06-6577-7081

FAX:06-6362-7170

<http://www.tontonmi.jp>

E-mail:info@tontonmi.jp



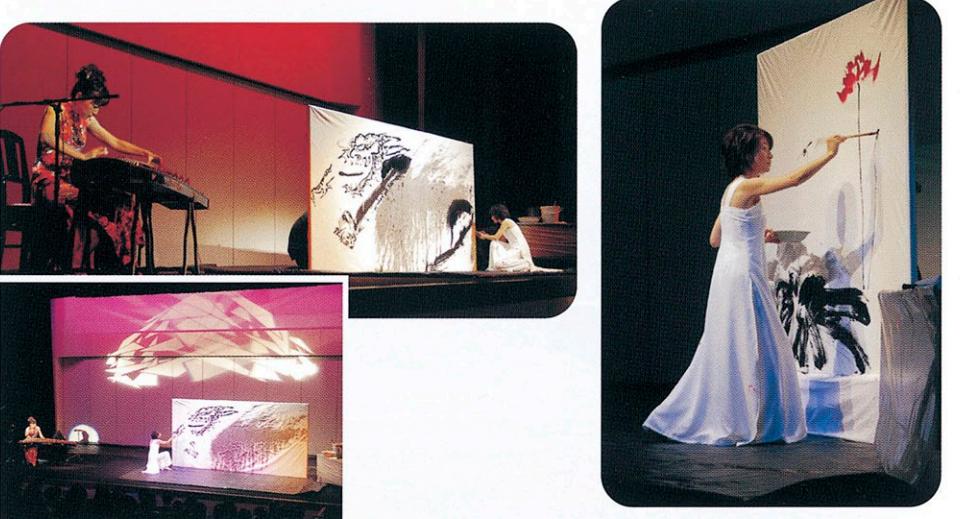
ご挨拶

知らぬ間に街路樹の木の芽が大きく膨らんでいます。春はもうそこまで来ています。昨年からの不況の影響もあって、このところいいニュースが少ないよう思います。しかし、こんな時こそ私たちは希望を失わずに前向きに進んでいかなければならないのではないかと感じます。明天会更好！（明日はもっといい日に！）そんなわけで、「芸術の力」で皆さんの中に希望の光を灯すことができれば、との思いが、今沸々と湧いてきています。

2009年も冬冬芸術文化交流協会では日中関係の色々なイベントや芸術交流を予定しています。冬冬は今年5月、北京で帰国個展を予定しています。ホームページ <http://tontonmi.jp> やメールニュースで逐次、情報を届けていきます。

2008年、コラボレーションから異文化の花が咲く

2008/7 西宮芸術祭『書琴画意』<中国古箏と水墨画の出会い>に出演



2008年7月19日(土)14時から西宮市フレンテホールにて、冬冬の水墨画と演奏家伍芳(ウー・ファン)の中国古箏のジョイントライブパフォーマンスが行われました。古箏のリズムに乗って「龍」と「水辺の蓮」の作品が描かれていく創作ライブに、きっと観客の皆さんも時間の経つのを忘れていただけたのではないかと。

なお、この作品は西宮市に寄贈し展示されています。

また、冬冬はこのイベントの日に合わせて、『凛・冬冬墨彩画作品集』を発表し、終演後のサイン会では花束に囲まれて観客の皆様との熱い交流のひとときを楽しむことができました。

主催：西宮市・西宮教育委員会
西宮市文化振興財団
後援：西宮市日中友好協会

2008/7 日中平和友好条約締結30周年記念『墨・彩の競演』 京都法然院南書院で梅屋書と冬冬水墨画の作品展

会期：2008年7月18日(金)～23日(水)



中国に源を発し日本に伝わり独自の文化を形成した書と水墨画。その永い伝統をもつ芸術の魅力に取り憑かれ、それぞれの新たな表現世界を真摯に探求し続けている日中の書と水墨画の俊英作家、梅屋と冬冬。この二人の作品展が、「墨・彩の競演」と題して古都京都の東山鹿ヶ谷の名刹法然院の南書院で開催されました。双方合わせて40点余りの作品は、真夏の京都にゆったりとした時間と清新な緊張感を演出しました。

パラリンピックに参加

今回、北京五輪に続く北京パラリンピックに、日本福祉放送北京パラリンピック特別番組のプロデューサーとして参加させていただきました。現場で2週間、日本の障害者に向けて第一線報道のお手伝いができ、感動感激いっぱいです。本当にいい思い出になりました。日本福祉放送責任者の川越利信様に感謝！(トントンの取材したニュースは9月15日の「紹興新聞」、「関西華文時報」にも大きく掲載されました。)



トントンの最近の旅

2008/9 中国内モンゴル自治区へ

フルンペール大草原は内モンゴルで一番美しい草原と言われています。見渡す限り無限に続くと思われる草原に馬、羊、牛が放し飼いにされています。たくさんの親切な方に出会いました。一瞬自分は遊牧民になってしまったのかと勘違いしました。一生に一度は行かなければならぬところだと思います。

モンゴルの作品をシリーズで描きました。

2009/1 お正月 日本の世界遺産への旅：白川郷へ

素晴らしい日本の風景にすっかり魅せられました。古民家はみんなの力で保存し、そのまま当時の風情を残し、次世代に伝える。冬の古民家と田んぼの白さ、人々のコントラストがいい感じ。まさに銀世界です。今は水墨画で創作中です。次の個展を・・・お楽しみに・・・。

2008/11 「旅、詩情。冬冬 墨彩の世界～旅で出会った美しい風景、その感動を共感したい…～」

場所：大阪 近鉄上本町店美術画廊
会期：2008年11月20日(木)～26日(水)

私の旅、芸術、そして人生私の個展隨想.....

私は、今年11月、大阪上本町近鉄百貨店6階美術画廊で「旅、詩情。冬冬墨彩画展」と題する個展を開催した。作品は40点、副題として「旅で出会った美しい風景、その感動を共感したい…」との思いを添えた。

中国絵画の偉大な先人達の多くは旅をし、その途上で出会った美しい風景や動植物に触発されて作品を作ってきた。何枚もの写生を通して自分の心の内側に、ある完全なイメージを描出していく、そんな「胸中山水」の世界を追求してきた。旅は常に新鮮で、そこで出会った風物は画家を感動させ、それを何か描き留めたいという画家の魂を揺さぶり、新しい着想や技法へといざなう。少なくとも私の場合はそうである。

今年2月、私は友人の誘いでトルコに旅行した。最初はあまり気乗りしなかった旅だったが、着くなり私はそれまで見たこともない風景の数々に魅了された。旅から戻った後、私はその感動に衝き動かされて、次々と作品を作りました。「蒼天下雪谷絶唱(カッパドキアの旅)」は最初の作品である。制作過程で私は新しい表現方法を想し実際に試みてみたが、その経験は私の画風を一変させることとなった。私はこの作品を北京中国美術館の世界女流画家ビエンナーレ展に出品し、賞を受けた。その後「トルコの旅」シリーズの作品が次々に生まれた。

その後も、日本国内で信州蓼科・車山高原、熊野那智の滝へと旅をしたことで、私の日本觀が変わった。中国に比べると小さい国日本、しかし、南北に長いこの島は四季の変化に富み多くの美しい自然が残されている。「日本にはまだ美しい場所、風景がある。もっと多くの場所を訪れてたくさんの絵を描きたい」という強い思いに駆られたのだった。

9月に北京パラリンピックが開催され、これ

まで障害者の美術教育に関わり中日障害者美術展を北京で開催したことがある私はスタッフとして参加することができた。大会が終了した後、私は友人に誘われて内モンゴルを初めて訪ねた。夢にまで見たどこまでも続くモンゴルの草原に佇んで、私は感動し、カメラのシャッターを押し続けた。何気ないものにも、時として心を動かされることがある。そうした感動は時が過ぎてしまうと忘れ去ってしまうが、私はその時に絵筆を執ってその感動を定着してきた。今年は数々の出会いがあり、そのおかげでたくさんの作品が手元に残った。

展覧会を開催するにあたって、美術画廊から実演を依頼された。展覧会場でオープニング・パフォーマンスをすることは、これまでにもあった。富山の個展では三味線演奏に合わせて龍と牡丹を描いたし、北京では女子十二樂坊と共にステージで金屏風に龍を描いた。今年7月には西宮で古箏奏者伍芳さんと共に龍と蓮の絵を描いた。しかしこれらはいずれも大きな会場で数メートルもある大きな紙に描いたもので、今回のように小さな会場で小さな作品を描くのは初めてだったが、会期中毎日30分程度画帖に季節の花の絵を描き来場者に解説するという、この「実演とギャラリートーク」を引き受けた。

会期二日目、つい先頃知遇を得た串本応挙芦雪館設立者で初代館長の東条光顕画伯が来場され、画帖巻頭に即興で絵を描いていただくという感激的な出来事もあった。会期中、美術画廊の担当者も驚く程、毎日多くの方が来てくださいました。何日も続けて来られる熱心な方もおられた。来場者の多くが中国画の実演を初めて見る人達であった。「中日芸術文化交流大使」として中日文化交流の責務を果たしているのだ、と実感できたことも大きな喜びであった。

私は今年で来日して10年になる。中国とは全く異なる風土の中で、美しい風景と出会い、人と出会い、絵を描いてきた。母なる中国から日本へ、そして世界へ…。考へてみれば私のたどってきた道自体が旅である。私はこれからもひたすら芸術の道を歩んで行きたい。私の故郷紹興出身の魯迅は言う、「もともと地上に道はない。人の歩いた跡が道になるのだ」(『故郷』)と。《2008年5月29日付「関西華文時報」掲載記事より要約》



冬冬 (ミー・トンイン Mi Dong Ying)

芸術学博士 中国国家級画家資格 宝塚造形芸術大学講師

雅号は必宣。多くの文人画家を輩出している中国浙江省紹興市に生まれ、幼少より画家であった祖父から絵の指導を受ける。中国の美術系大学の最高峰である中国美術学院に進み、中国画を専攻しその技法と実践を深める。中国国家級画家資格を取得。その後、1999年に日本に留学。宝塚造形芸術大学造形研究科博士課程において現代美術を専攻、修了。同大学において博士号(芸術学)を取得。

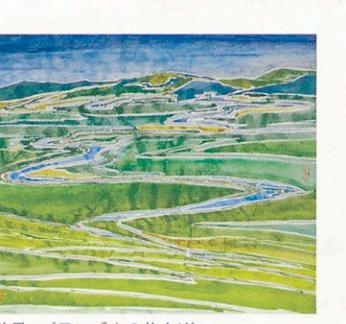
これまで日本国内で14回の個展を開催。世界女流画家特選展、上海芸術博覧会、東京芸術博覧会、中日現代芸術展など数多くの国際展での入賞。代表作品は躍動感溢れる「100メートルの龍」(2006年制作)。また2006年10月、女子十二樂坊と共に第11回中日経済論壇会のオープニングセレモニーではライブパフォーマンスを披露。それらの活躍ぶりはNHK、読売新聞、神戸新聞などで報道される。

現在、宝塚造形芸術大学にて水墨画や造形デザインの講師を務めるかたわら、正統な中国水墨画の伝統を踏まえつつ、現代的な感性による新しい水墨画の世界を切り拓こうと、旺盛な創作活動を多面的に展開。今後さらなる飛翔を予感させる新進気鋭の芸術家として各界から注目されている。

2007年に「冬冬芸術文化交流協会」設立 (<http://www.tontonmi.jp>)

2008年1月 中国政府機関より「中日芸術交流大使」に任命される

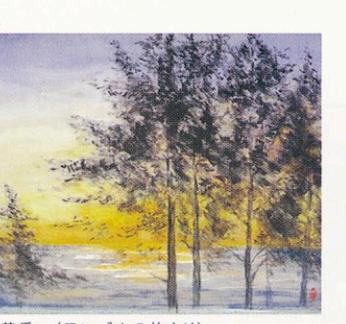
著書:『一冊でデッサンをマスター』(2008)、『凛・冬冬墨彩画作品集』(2008)など



「牧歌」(モンゴルの旅より)



「大麗花 (ダリア)」



「黄昏」(モンゴルの旅より)



「水田盈つ」(トルコの旅より)

ホームページもご覧ください！ <http://www.tontonmi.jp>

<http://www.tontonmi.jp>

ミー・トンインの公式ブログをオープン！ <http://www.bloguru.com/tonton>
芸術活動以外の話題や情報も、どんどんこちらに出していきたいと思います。